

手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議 (平成30年度第2回)

日時：平成30年8月31日（金）午前10時～正午

場所：鳥取県庁第2庁舎4階 第34会議室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 報告事項

- (1) 第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査結果について（資料1）

4 議 題

- (1) 議案第1号
第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園実施計画について（資料2）
- (2) 議案第2号
第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園本大会審査実施要領について（資料3）

5 その他

- (1) 今後の日程について（資料4）
- (2) 大会へのご出席について
- (3) その他

6 閉 会

手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議 出席者名簿
(平成30年度第2回)

役 職	所属・役職名	氏名(敬称略)	出 欠 (代理:敬称略)
委員長	鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局長	宮本 則明	出
委 員	国立大学法人筑波技術大学 教授	大杉 豊	欠
	一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長	吉田 航	出
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 事務局次長兼福祉・労働委員会委員長	戸羽 伸一	出
	鳥取県手話通訳士協会	森原 早百合	出
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部	国広 生久代	出
	鳥取県手話サークル連絡協議会	田中 優子	出
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 常務理事	野間田 憲昭	欠
	鳥取県教育委員会 教育次長	足羽 英樹	出
	鳥取県高等学校長協会 会長	田中 正士	出
	鳥取県私立中学高等学校長会 会長	佐伯 友茂	出
	鳥取県立鳥取聾学校 校長	三王寺 孝子	出
事務局	事務局長(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局 障がい福祉課 社会参加推進室長)	明場 達朗	/
	事務局次長(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局 障がい福祉課 社会参加推進室 課長補佐)	北川 泰子	
	事務局員(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局 障がい福祉課 社会参加推進室 係長)	大森 宏治	

※オブザーバー出席:m&m.CO

※手話通訳者:鳥取県聴覚障害者協会

第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 本大会出場チーム一覧 (予選審査結果)

【①地方ブロック枠（5チーム）】※各ブロックで最上位チームを選出

ブロック名	都道府県名	学校名	よみ	得点	本大会出場回数
北海道・東北	-	選出なし(古川黎明高等学校が本大会出場辞退)	-	-	-
1 関東	東京都	中央ろう学校	ちゅうおうろう	176	3回目
2 中部	愛知県	岡崎東高等学校	おかざきひがし	173	3回目
3 近畿	奈良県	奈良県立ろう学校	ならけんりつろう	177	5回目
4 中国・四国	鳥取県	米子東高等学校	よなごひがし	171	初出場
5 九州・沖縄	沖縄県	真和志高等学校	まわし	183	5回目

【②得点順枠（14チーム）】※①を除く上位14チームを選出

ブロック名	都道府県名	学校名	よみ	得点	本大会出場回数
1 関東	神奈川県	横浜南陵高等学校	よこはまなんりょう	176	3回目
2 九州・沖縄	熊本県	熊本聾学校	くまもとろう	172	4回目
3 中部	愛知県	杏和高等学校	きょうわ	172	4回目
4 九州・沖縄	福岡県	三井高等学校	みい	171	5回目
5 中部	石川県	田鶴浜高等学校	たつるはま	169	5回目
6 中国・四国	広島県	ノートルダム清心高等学校・広島南特別支援学校	のーとるだむせいしん・ひろしまみなみとくべつしえん	167	2回目・初出場
7 中国・四国	愛媛県	済美高等学校	さいび	167	初出場
8 関東	東京都	立川ろう学校・富士森高等学校	たちかわろう・ふじもり	165	3回目・初出場
9 中国・四国	鳥取県	鳥取城北高等学校	とっとりじょうほく	164	4回目
10 近畿	奈良県	聖心学園中等教育学校	せいしんがくえん	163	3回目
11 九州・沖縄	熊本県	黒石原支援学校	くろいしはらしえん	162	初出場
12 近畿	兵庫県	鳴尾高等学校	なるお	162	初出場
13 中国・四国	鳥取県	境港総合技術高等学校	さかいみなとそうごうぎじゅつ	162	5回目
14 関東	神奈川県	日本女子大学附属高等学校	にほんじょだいがくふぞく	161	初出場

【③開催地枠（選出なし）】※①・②に鳥取県チームが含まれるため選出なし

ブロック名	都道府県名	学校名	よみ	得点	本大会出場回数
1 -	-	選出なし	-	-	-

【④初出場枠（1チーム）】※①・②・③を除きこれまで本大会に出場したことのない最上位チームを選出

ブロック名	都道府県名	学校名	よみ	得点	本大会出場回数
1 中国・四国	鳥取県	琴の浦高等特別支援学校	ことこのうらこうとうとくべつしえん	159	初出場

[本大会の演技順]

順番	都道府県名	学校名	備考
1	鳥取県	琴の浦高等特別支援学校	
2	鳥取県	鳥取城北高等学校	
3	神奈川県	日本女子大学附属高等学校	
4	鳥取県	境港総合技術高等学校	
5	広島県	ノートルダム清心高等学校・広島南特別支援学校	
6	愛媛県	済美高等学校	
7	東京都	立川ろう学校・富士森高等学校	
8	奈良県	聖心学園中等教育学校	
9	兵庫県	鳴尾高等学校	選手宣誓チーム
10	熊本県	黒石原支援学校	
11	東京都	中央ろう学校	
12	沖縄県	真和志高等学校	
13	熊本県	熊本聾学校	
14	愛知県	岡崎東高等学校	
15	鳥取県	米子東高等学校	
16	福岡県	三井高等学校	
17	神奈川県	横浜南陵高等学校	
18	愛知県	杏和高等学校	
19	石川県	田鶴浜高等学校	
20	奈良県	奈良県立ろう学校	

参考

第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 参加申込みチーム一覧

■参加申込 62チーム(65校)

ブロック名	チーム数	学校数	No.	都道府県	【別記】学校名	よみ	※ 予選参加 実績	備考
北海道・東北ブロック	1チーム	1校	1	宮城県	古川黎明高等学校	ふるかわれいめい	2	※本大会出場辞退
関東ブロック	13チーム	16校	2	埼玉県	ふじみ野高等学校	ふじみの	初	
			3	埼玉県	熊谷高等学校	くまがや	2	
			4	埼玉県	誠和福祉高等学校	せいわふくし	2	
			5	千葉県	西武台千葉高等学校	せいふだいちば	初	
			6	東京都	立川ろう学校	たちかわ	3	合同チーム
			東京都	富士森高等学校	ふじもり	初		
			7	東京都	青峰学園	せいほうがくえん	初	
			8	東京都	中央ろう学校	ちゅうおうろう	3	
			9	東京都	大泉桜高等学校	おおいずみさくら	5	
			10	東京都	潤徳女子高等学校	じゆんとくじよし	3	
			11	東京都	筑波大学附属桐が丘特別支援学校	つくばだいがくふぞくきりがおかとくべつしえん	初	合同チーム
			東京都	筑波大学附属駒場高等学校	つくばだいがくふぞくこまば	初		
			埼玉県	筑波大学附属坂戸高等学校	つくばだいがくふぞくさかど	初		
			12	東京都	クラーク記念国際高等学校東京キャンパス	くらーきねんこくさい	4	
13	神奈川県	横浜南陵高等学校	よこはまなんりょう	4				
14	神奈川県	日本女子大学附属高等学校	にほんじょしだいがくふぞく	初				
中部ブロック	13チーム	11校	15	石川県	田鶴浜高等学校	たつるはま	5	
			16	福井県	啓新高等学校	けいしん	5	
			17	山梨県	身延山高等学校	みのぶさん	5	
			18	岐阜県	岐阜聾学校	ぎふろう	初	
			19	静岡県	掛川工業高等学校 A	かけがわこうぎょう	3	同一校
			20	静岡県	掛川工業高等学校 B	かけがわこうぎょう	3	同一校
			21	静岡県	熱海高等学校	あたま	2	
			22	愛知県	岡崎東高等学校	おかざきひがし	3	
			23	愛知県	杏和高等学校	きょうわ	4	
			24	愛知県	修文女子高等学校	しゅうぶんじよし	初	
			25	愛知県	安城生活福祉高等専修学校	あんじょうせいかつふくし	4	
			26	愛知県	桜花学園高等学校Aチーム	おうかがくえん	4	同一校
			27	愛知県	桜花学園高等学校Bチーム	おうかがくえん		同一校
近畿ブロック	11チーム	11校	28	滋賀県	八幡高等学校	はちまん	5	
			29	京都府	京都八幡高等学校南キャンパス	きょうとやわた	3	
			30	京都府	日星高等学校	にっせい	初	
			31	大阪府	松原高等学校	まつばら	5	
			32	大阪府	昇陽高等学校	しょうよう	3	
			33	兵庫県	鳴尾高等学校	なるお	3	
			34	兵庫県	いぶき明生支援学校	いぶきめいせい	2	
			35	兵庫県	社高等学校	やしろ	2	
			36	兵庫県	六甲アイランド高等学校	ろっこうあいらんど	初	
			37	奈良県	聖心学園中等教育学校	せいしんがくえん	3	
38	奈良県	奈良県立ろう学校	ならけんりつろう	5				
中国・四国ブロック	15チーム	17校	39	鳥取県	鳥取城北高等学校	とっとりじょうほく	5	
			40	鳥取県	境港総合技術高等学校	さかいみなとそうごうぎじゆつ	5	
			41	鳥取県	米子東高等学校	よなごひがし	初	
			42	鳥取県	琴の浦高等特別支援学校	ことのうちら	初	
			43	鳥取県	鳥取聾学校	とっとりろう	4	合同チーム
			鳥取県	岩美高等学校	いわみ	5		
			44	岡山県	美作高等学校	みまさか	初	
			45	広島県	清水ヶ丘高等学校	しみずがおか	初	※動画提出辞退
			46	広島県	ノートルダム清心高等学校	のーとるだむせいしん	2	合同チーム
			広島県	広島南特別支援学校	ひろしまみなみとくべつしえん	初		
			47	徳島県	城南高等学校	じょうなん	初	
			48	徳島県	鳴門高等学校	なると	3	
			49	香川県	尽誠学園高等学校	じんせいがくえん	初	
			50	香川県	高松南高等学校	たかまつみなみ	3	
			51	愛媛県	聖カタリナ学園高等学校	せいかたりながくえん	2	
52	愛媛県	済美高等学校	さいび	初				
53	愛媛県	新田青雲中等教育学校	にったせいうん	2				
九州・沖縄ブロック	9チーム	9校	54	福岡県	大和青藍高等学校	やまとせいらん	4	
			55	福岡県	三井高等学校	みい	5	
			56	佐賀県	神埼清明高等学校	かんざきせいめい	2	
			57	長崎県	平戸高等学校	ひらど	3	
			58	熊本県	黒石原支援学校	くろいしはる	初	
			59	熊本県	熊本聾学校	くまもとろう	4	
			60	大分県	大分東明高等学校	おおいたとうめい	5	
			61	沖縄県	真和志高等学校	まわし	5	
			62	沖縄県	陽明高等学校	ようめい	3	

※予選参加実績欄 数字は参加回数(今大会含む)、「初」:初参加校

第5回



全国高校生 手話パフォーマンス甲子園

実施計画(案)

平成30年8月31日(金)

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

演技司会



早瀬 憲太郎 (はやせ けんたろう)
ろう児対象の国語専門学習塾「早瀬道場」塾長。映画監督。元NHKみんなの手話講師。デフリンピックサムスン2017自転車競技日本代表。



中野 郁海 (なかの いくみ)
鳥取県出身。2000年8月20日生まれ。AKB48チーム8鳥取県代表/チームK兼任。2014年10月とっとりふるさと大使、2018年6月鳥取県「とっとり未来キッズプロジェクト」の応援キャラクターに就任。

総合司会



原田 裕和 (はらだ ひろかず)
NHK鳥取放送局チーフアナウンサー

審査員長

審査員

庄崎 隆志
(しょうざき たかし)



演出家・俳優

小中 栄一
(こなか えいいち)



一般財団法人全日本ろうあ連盟 女優・ダンサー
副理事長

貴田 みどり
(きた みどり)



女優・ダンサー

金沢 映子
(かなざわ えいこ)



舞台女優

門 秀彦
(かど ひでひこ)



絵かき

寺川 志奈子
(てらかわしなこ)



鳥取大学地域学部 教授

ゲストパフォーマー



【本大会】

手話パフォーマンス きいろぐみ
手話はろう者が生み出した美しい芸術！！
「ろう者と手話の立場から多くの人に夢を！！」を合言葉に集まったろう者＆聞こえる人のサインパフォーマンスグループ。



【交流会】

井崎 哲也 (いさき てつや)
日本ろう者劇団(社会福祉法人トット基金の付帯劇団)俳優。手話劇・サインマ임等をおとして、ろう者の文化を普及していくための活動を続けている。

出場チーム(20チーム)

●午前演技

演技順	都道府県	学校名
1	鳥取県	琴の浦高等特別支援学校
2	鳥取県	鳥取城北高等学校
3	神奈川県	日本女子大学附属高等学校
4	鳥取県	境港総合技術高等学校
5	広島県	ノートルダム清心高等学校・広島南特別支援学校
6	愛媛県	済美高等学校
7	東京都	立川ろう学校・富士森高等学校
8	奈良県	聖心学園中等教育学校
9	兵庫県	鳴尾高等学校 (選手宣誓)
10	熊本県	黒石原支援学校

●午後演技

演技順	都道府県	学校名
11	東京都	中央ろう学校
12	沖縄県	真和志高等学校
13	熊本県	熊本聾学校
14	愛知県	岡崎東高等学校
15	鳥取県	米子東高等学校
16	福岡県	三井高等学校
17	神奈川県	横浜南陵高等学校
18	愛知県	杏和高等学校
19	石川県	田鶴浜高等学校
20	奈良県	奈良県立ろう学校 (優勝旗返還)

本大会

●開場 8時00分 / ●開演 9時00分

○日 時：平成30年10月7日(日) 9:00～16:00

○場 所：米子コンベンションセンター多目的ホール（鳥取県米子市末広町294番地）

【日程案】

時間	項目	内容
9:00～9:40	開会式等	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニング映像 ・開会 ・主催者あいさつ(実行委員会会長) ・来賓あいさつ(全日本ろうあ連盟、日本財団) ・出場チーム紹介 ・優勝旗返還(奈良県立ろう学校) ・選手宣誓(鳴尾高等学校) ・閉会挨拶
9:40～9:51	審査員紹介等	<ul style="list-style-type: none"> ・審査員紹介、ルール説明等 ・演技司会者紹介
9:51～11:50	チーム演技【第1部】	前半10チームの演技
11:50～12:42	(昼休憩)	
12:42～14:46	チーム演技【第2部】	後半10チームの演技
14:46～15:00	(休憩)	
15:00～15:25	ゲストパフォーマンス	手話パフォーマンス きいろぐみ
15:25～16:00	表彰式、閉会	<ul style="list-style-type: none"> ・表彰 優勝、準優勝、第3位、 審査員特別賞、全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、 鳥取県聴覚障害者協会賞 ・審査員長講評 ・共催者あいさつ(鳥取県聴覚障害者協会) ・閉会

※内容及び時間は現時点の予定

<米子コンベンションセンター 多目的ホール>



【大会の観覧】

項目	内容
観覧方法	観覧自由(事前申込み不要)
入場料	無料
一般入場席	多目的ホール 約1,100席(ハートフル席約80席)
サテライト会場等	多くの入場希望者が来場し、多目的ホールに入場できない状況も想定して、サテライト会場や映像モニターを設置してステージの様子を放映する。 ○サテライト会場:情報プラザ ○映像モニター:エントランスロビー等
ライブ配信	当日来場できない方を含め、より多くの方に大会を観覧いただけるよう、インターネット(手話パフォーマンス甲子園☆動画チャンネル)上でライブ中継を行う。なお、CD音源を使用する場合、著作権について所有者の許諾が得られない場合は、音声を配信しない。

【催し】

項目	内容
あいサポート・マルシェ (正面入口前・1階ホワイエ)	障がい福祉サービス事業所等による販売コーナー (飲食物(軽食)、事業所作品、特産品等の販売)
手話カフェ(1階ホワイエ)	手話を使った交流の場(米子市の手話カフェSignによる)
鳥取聾学校写真展(1階情報プラザ)	鳥取聾学校写真部の作品展示コーナー
販売コーナー (1階ホワイエほか)	大会公式グッズの販売コーナー 高校生販売コーナー 鳥取県聴覚障害者協会の販売コーナー 等
手話パフォーマンス甲子園 紹介コーナー (1階エントランスロビー)	大会概要や過去の大会の様子を紹介パネル展示等
その他の催し等	・高校生郷土芸能ステージ(1階ホワイエ) ・Clara氏ワークショップ(1階情報プラザ) ・スタンプラリー、お土産コーナー(1階) ・協賛企業PRコーナー(1階) ・出場チーム紹介コーナー、・情報パネル、・ライブ映像 等

<マルシェ(前回)>



<高校生販売コーナー(前回)>



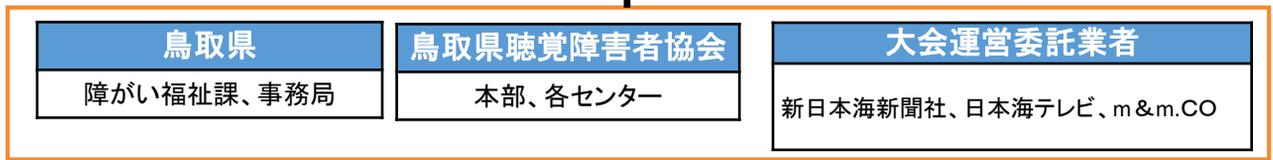
<ワークショップ(前回)>



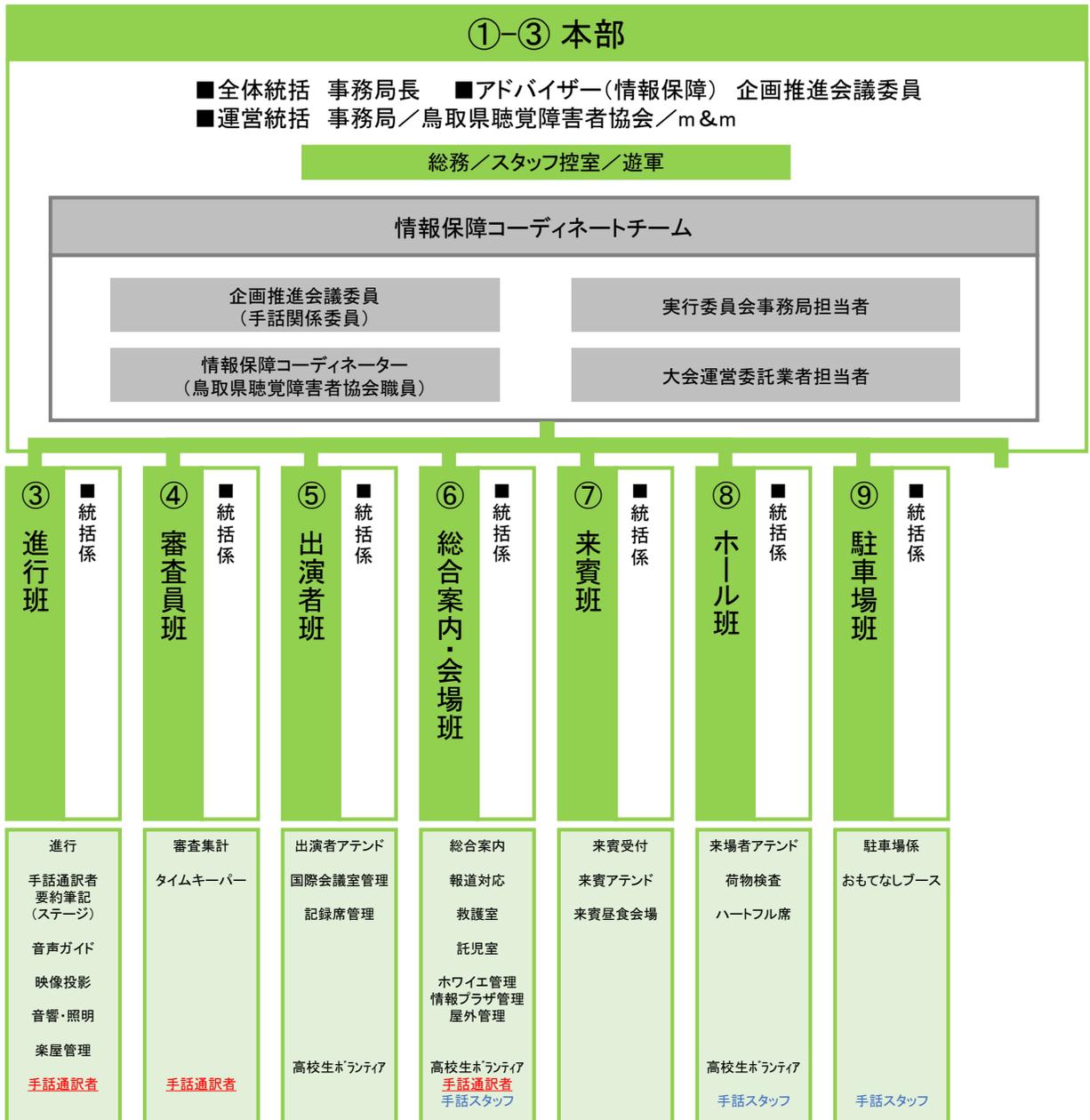
●運営体制

実行委員会企画推進会議

大会実施計画、その他大会の実施に係る事項の決定、大会運営への助言・指導等
情報保障コーディネーターチームによる情報保障のさらなる充実化



●当日運営体制図(「○数字」は、本部系統のインカムライン)



舞台監督 中城 貞夫

高知よさこい前夜祭で、10年以上舞台監督を務めており、手話パフォーマンス甲子園も第1～4回大会の舞台監督を担当しています。

◎手話通訳者
(鳥取県聴覚障害者協会より)
 ◎手話スタッフ
(全通研・県サ連より)

高校生ボランティア

手話パフォーマンス甲子園の本来の姿は、高校生が主体的に運営に参加することです。
 多くの高校生がろう者と触れ合う機会を作るため、第5回大会では、さらに高校生ボランティアの数を増やすとともに、大会運営の一躍を担うことができたという達成感を実感できる機会づくりを行います。

◎第5回 高校生ボランティア申込数 39名

(境港26、境1、琴の浦7、倉吉農2、倉吉西2、鳥取東1)

※事前説明会参加者を優先的に「出演者班」に配置していく。

■役割

出演者班	出場チーム管理	20名	出場チームの動きの管理、座席、ステージほかへのアテンド 昼食へほか、出場チームのサポート ※1チーム1名
		2名	国際会議室の管理、出場チームの誘導
総合案内会場班	ワークショップ	12名	ワークショップ運営の補助 ※2名 * 3ワークショップ * 2セット ※午前、午後で入れ替え
	手話カフェ補助	2名	手話カフェ運営の補助
ホール班	ハートフル係	3名	ハートフル席利用者の席へのアテンド

(過去大会実績)

◎第3回 高校生ボランティア数 6名

■役割

- 出演者班 出場校管理4名 出場校をステージや座席へ連れていくスタッフ
- 出演者班 リハ室管理1名 リハーサル室の管理、アテンド
- 出演者班 荷物管理 1名 出場校の預け入れ荷物の受付・管理

◎第4回 高校生ボランティア数 18名 (倉吉西高校 6名、米子松陰高校 2名、鳥取湖陵高校 10名)

■役割

- 出演者班 出場チーム管理18名 出場校をステージや座席へ連れていくスタッフ

◎その他、高校生の大会参加

項目	内容	前回実績
高校生販売コーナー	倉吉農業高等学校による野菜や加工食品販売	鳥取湖陵・境港総合技術
高校生応援サポーター	PR映像やCM、新聞広告などに出演	青翔開智・倉吉東・米子北
高校生による郷土芸能ステージ	米子白鳳高校による淀江さんこ節	なし

手話スタッフ

全国手話通訳問題研究会・鳥取県手話サークル連盟の協力のもと、手話スタッフボランティアの協力をいただき、大会を運営する。

※協力条件を「手話で会話ができるレベル」として、応募人数にあわせて再度配置を検討します。

◎全国手話通訳問題研究会鳥取支部、鳥取県手話サークル連絡協議会 25名(予定)

班	場所	内容	人数
総合案内班	総合案内	手話アテンド(来場者への手話対応・会場案内ほか)	2名
会場班	情報プラザ	手話アテンド(来場者への手話対応・会場案内ほか)	4名
ホール班	多目的ホール 上手・前方 入口	手話アテンド(来場者への手話対応・会場案内ほか)	4名
	多目的ホール 上手・後方 入口	手話アテンド(来場者への手話対応・会場案内ほか)	4名
	多目的ホール 下手・前後 入口	手話アテンド(来場者への手話対応・会場案内ほか)	4名
	多目的ホール ホワイエ	手話アテンド、荷物検査係の手話対応補助ほか	4名
米子駅	おもてなしブース・タクシー乗場	手話アテンド、利用者へ自動車・タクシーのアテンド対応	3名

●米子コンベンションセンター(1階)

多目的ホール
(リハーサル日) ●リハーサル
(本大会) ●本番

情報プラザ
(リハーサル日)
●設営
(本大会)
●サテライト会場
●鳥取聾学校写真展
●ワークショップ
●鳥取県のお土産コーナー
●手話パフォ公式グッズ販売
●協賛企業PRコーナー

楽屋・リハ室

- 楽屋1 司会
- 楽屋2 来賓
- 楽屋3 本部
- 楽屋4 きいろぐみ
- 楽屋5 審査員室
- 楽屋6 審査集計
- リハーサル室
- 出場チーム待機室
- 楽屋事務室 司会

情報プラザ

エントランス

- 総合案内
- 情報パネル
- 手話パフォPR
- 出場チームPR
- ライブ映像

**来賓
屋食会場**

1 2 3 4 5
マルチ
マルシェ

協賛(明石)
ミゼット車展示

身障者用トイレ
(オストメイト対応)

授乳室

エントランス

総合案内

飲食スペース

来場者
動線

**多目的
ホール**

ハートフル
来賓入場口

一般入場口

一般入場口

身障者用トイレ
(女性)

身障者用トイレ
(男性)

**多目的ホール
ホワイエ**

多目的ホールホワイエ

- ◎郷土芸能ステージ ◎手話カフェ
- ◎鳥取県聴覚障害者協会コーナー
- ◎鳥取県手話サークル連絡協議会コーナー
- ◎あいサポート・マルシェ ◎高校生販売
- ◎協賛PRコーナー ◎ライブ映像

●米子コンベンションセンター(2階)

国際会議室
(リハーサル日) ●出場チームリハーサル
(本大会) ●出場チームリハーサル

(両日)
・スタッフルーム ●女性更衣室
・特別控室 ●男性更衣室

女性更衣室
スタッフルーム

男性更衣室
特別控室

**国際
会議室**

**多目的ホール
ホワイエ**
出場チームクローク

ホワイエ

←出場チーム
動線

● 3階

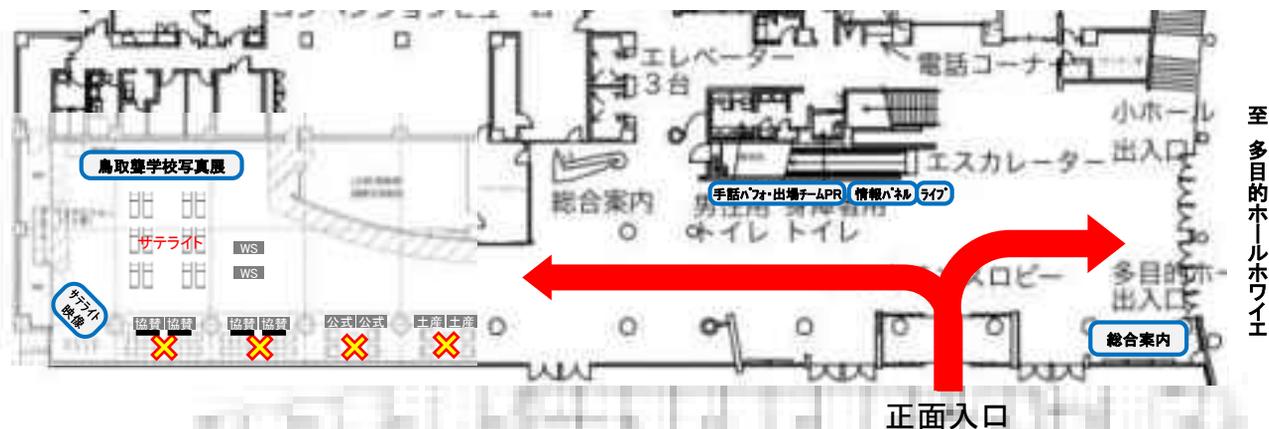
身障者用
トイレ(狹)

【第1】
(会議室)
救護室

【第2】
(会議室)
託児室

【第3】
(会議室)
スタッフルーム

●情報プラザ・エントランスロビー

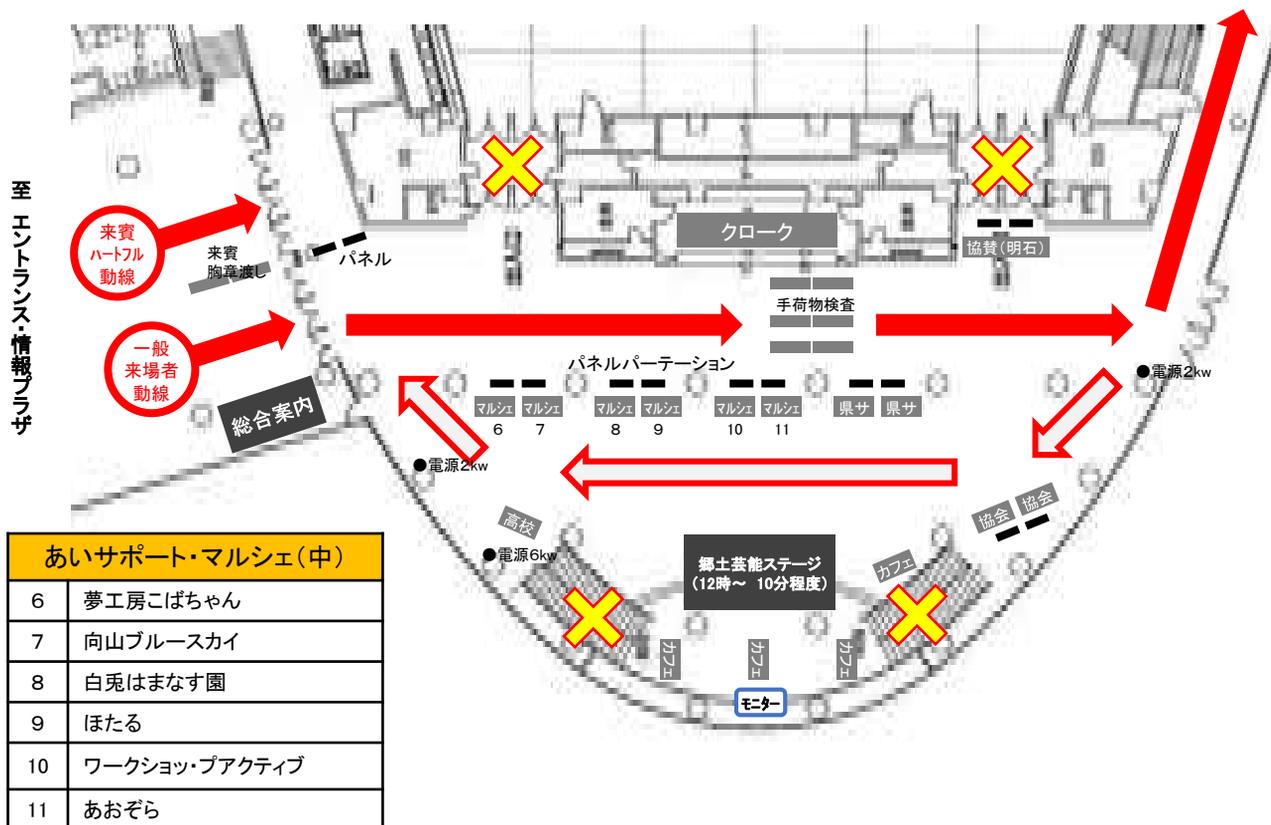


至 多目的ホールホワイエ

あいサポート・マルシェ(外)	
1	もみの木作業所
2	カフェ&ギャラリーゆい
3	あかり広場
4	さんふく
5	合同ふれあい



●多目的ホールホワイエ



至 エントランス情報プラザ

あいサポート・マルシェ(中)	
6	夢工房こばちゃん
7	向山ブルースカイ
8	白兔はまなす園
9	ほたる
10	ワークショップ・プアティブ
11	あおぞら

1564席

- ◎一般席(1005席) ◎ハートフル席(60席/車いす・盲ろう者席含む)
- ◎出場チーム、引率、同行者席(323席)
- ◎報道席(76席) ◎音響・照明・映像関係(40席) ◎来賓席(60席)

※左右のウイング席は、使用しない ※10列目までの固定席を外し、パイプ椅子で対応
 ※車いす・盲ろう者席含む
 ※パイプ椅子を設置

(舞台上手)
 出場チーム待機・
 要約筆記スペース



[1L1]
 ハートフル・
 来賓入場口

[1R1]
 一般入場口

[1L2] X

[1R1]
 一般入場口

ハートフル席

(1階前方入口(1R1)から誘導)1階の80席をハートフル席として開放。
 体の不自由な方やお年寄りを優先的に、ステージやモニタ近くに誘導します。
 ◎障がいのある方 ◎車椅子を利用される方 ◎歩行が大変な方 ◎妊婦の方ほか

※2階の出入口は
 出場チーム専用

●モニター／情報保障計画

モニターに表示する映像は、挨拶・パフォーマンスともに極力正面から手話を撮影します。
撮影方法については、実行委員会および情報保障コーディネーターチームにて協議して決定して行きます。

■多目的ホール（300インチLEDモニター・200インチ又は120インチスクリーン）

■式典・インタビュー時

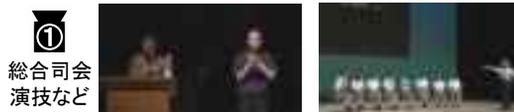


■パフォーマンス時



表示場所	表示内容	
	■式典・インタビュー時	■パフォーマンス時
300インチ LEDモニター	①手話通訳 ②要約筆記 ③ライブ映像	演出映像
200インチ(又は120インチ) 程度 スクリーン(上手)	ライブ映像	ライブ映像
120インチ程度 スクリーン(下手)	テロップ (演目名ほか)	テロップ 出場チーム 演目名ほか

(ライブ映像イメージ) ※カメラNOは、座席計画を参照



※挨拶時も正面から撮影
(カメラ配置については、現地下見後に調整します)

●ポイント「情報保障」

登壇する出演者(ろう者)への情報保障として、
①②を実施します。

①手話通訳者@舞台上手袖・下手袖・舞台下(最前列)

②情報保障モニター @舞台上手袖

※演技前に舞台袖で待機する出演者にステージの様子がわかるようにします。

※最終的な手話通訳・要約筆記エリアについては、鳥取県・鳥取県聴覚障害者協会と調整し実施します。

■情報プラザ(サテライト会場)

(スクリーン・プロジェクター投影)
※全て音声あり ※ライブ映像として

■エンタランスロビー ■多目的ホールホワイエ

(50インチモニター上映)
※全て音声あり ※ライブ映像として

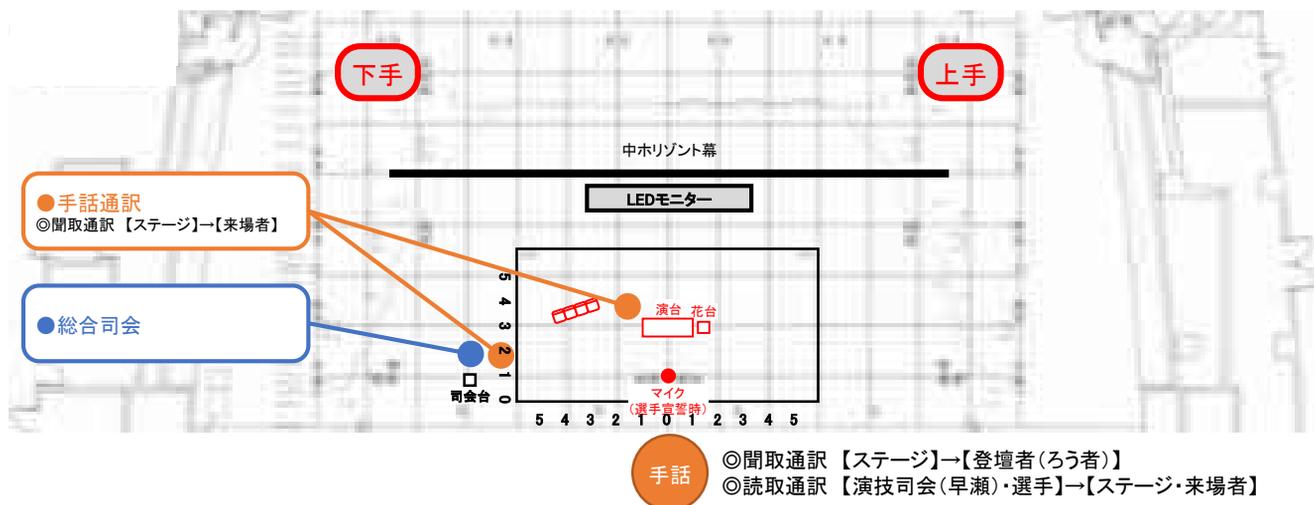
■ライブ配信

※著作権の関係で一部音声なし
※演目などをテロップ表記します

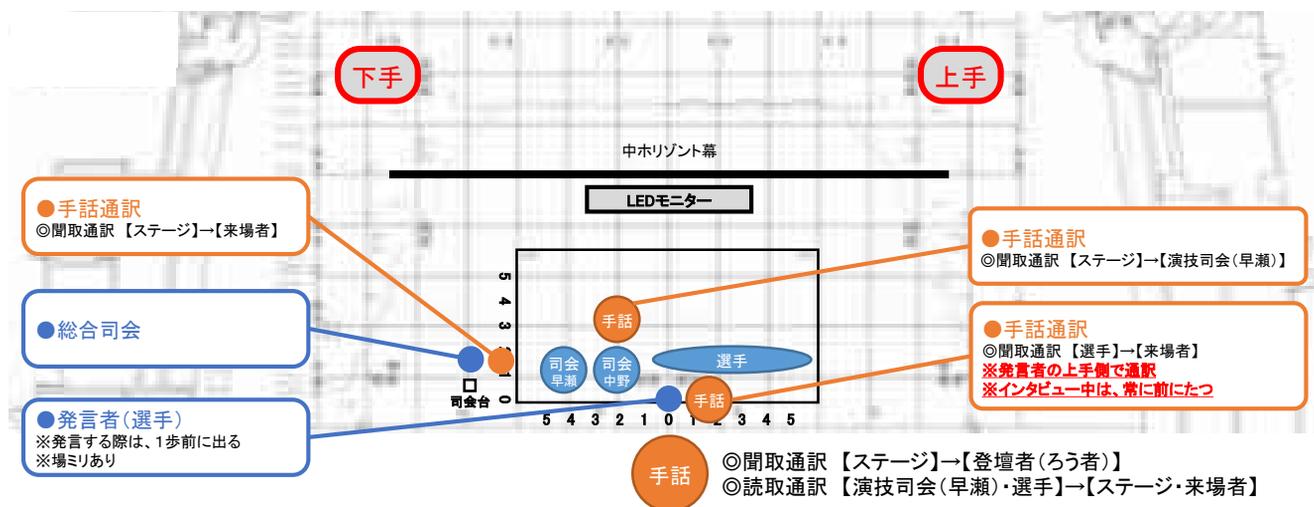


ステージ上、LEDモニターを含めた
画角の映像を流します。

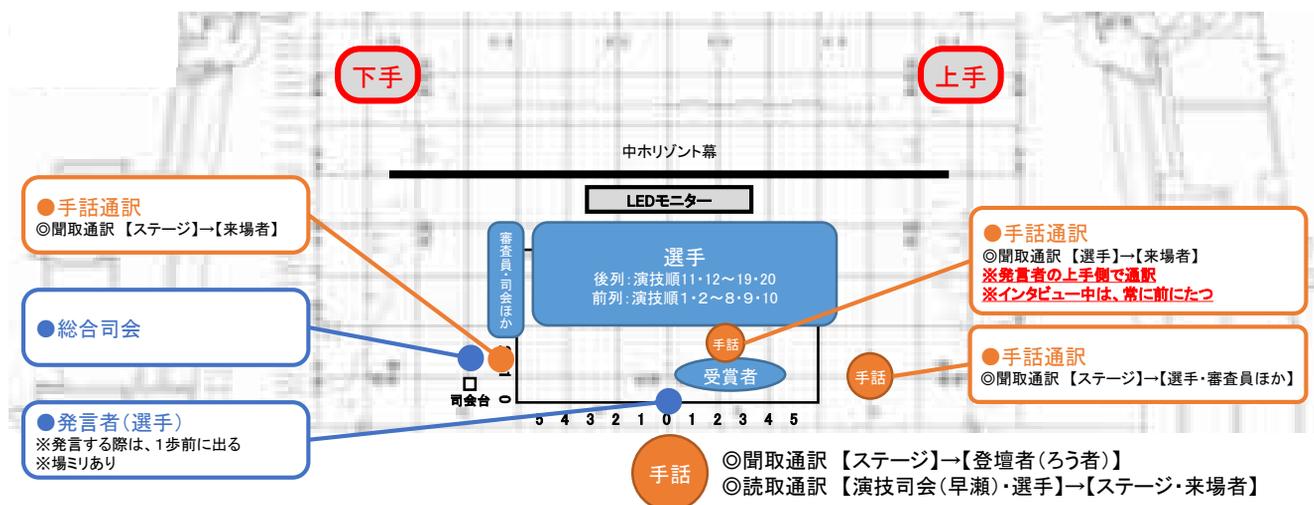
●手話通訳配置 / 式典時 (LEDモニター位置、調整中)



●手話通訳配置 / パフォーマンス・インタビュー時 (LEDモニター位置、調整中)



●手話通訳配置 / 表彰式時 (LEDモニター位置、調整中)



◎「読取通訳」 手話言語 → 日本語 / ◎「聞取通訳」 日本語 → 手話言語

●会場イベント一覧

会場イベント内容	場所	時間	内容
総合案内	エントランスロビー	終日	
情報パネル	エントランスロビー	終日	
ライブ映像①	エントランスロビー	終日	ステージイベントの様子を投影 (エントランスロビーおよび多目的ホールホワイエ)
手話パフォーマンス甲子園PR 出場チームPRコーナー	エントランスロビー	終日	過去大会をパネルで紹介し また、出場学校のパンフレットを展示します

会場イベント内容	場所	時間	内容
サテライト会場	情報プラザ	終日	臨場感あるステージイベントの様子を投影
鳥取壺学校写真展	情報プラザ	終日	鳥取壺学校写真部による写真展
ワークショップ	情報プラザ	終日	誰でもできる選べる簡単ワークショップとして3つを用意！ ①Claraのアート体験 ②砂像色付け体験 ③オリジナル缶バッジづくり
鳥取県のお土産コーナー	情報プラザ	終日	鳥取県のお土産の販売
手話パフォーマンス甲子園 公式グッズ販売	情報プラザ	終日	グッズ販売コーナー(すずかけ・モルタルマジック)
協賛企業PRコーナー①	情報プラザ	終日	協賛企業のPRコーナー

会場イベント内容	場所	時間	内容
郷土芸能ステージ	多目的ホールホワイエ (ステージ)	12:00~	地元鳥取の高校生の郷土芸能ステージとして、全国からの来場者のおもてなしをします
手話カフェ (飲食コーナー①)	多目的ホールホワイエ (ステージ)	終日	手話カフェsignの出張カフェコーナー
鳥取県聴覚障害者協会 コーナー	多目的ホールホワイエ	終日	PR、物販コーナー および、デフリンピックPRコーナー
鳥取県手話サークル連絡協議会 コーナー	多目的ホールホワイエ	終日	PRコーナー
あいサポート・マルシェ①	多目的ホールホワイエ	終日	障がい福祉サービス事業所などによる飲食販売コーナー (多目的ホールホワイエおよび屋外)
高校生販売コーナー	多目的ホールホワイエ	終日	野菜類および加工食品の対面販売コーナー(倉吉農業高等学校)
ライブ映像②	多目的ホールホワイエ	終日	ステージイベントの様子を投影 (エントランスロビーおよび多目的ホールホワイエ)
協賛企業PRコーナー②	多目的ホールホワイエ	終日	協賛企業のPRコーナー(明石)

会場イベント内容	場所	時間	内容
飲食コーナー②	屋外	終日	飲食エリア (多目的ホールホワイエおよび屋外)
あいサポート・マルシェ②	屋外	終日	障がい福祉サービス事業所などによる飲食販売コーナー (多目的ホールホワイエおよび屋外)
協賛企業PRコーナー③	屋外	終日	協賛企業のPRコーナー(明石・ミゼット車展示)

会場イベント内容	場所	時間	内容
救護室	第1会議室	終日	
託児室	第2会議室	終日	総合案内にて受付
スタッフルーム	第3会議室	終日	

①手話カフェの開設



場所:ホワイエ

期日:イベント前日・当日

来場者、出場チームの交流の場となる「手話カフェ」を会場内にオープン。ろう者と聞こえる人の交流を推進するだけでなく、出場チームの交流スペースとします。

協力:手話カフェsign

②ワークショップの充実



場所:情報プラザ

期日:イベント当日

もっとワークショップを充実して欲しいという、来場者アンケートを受け、今年は3つのワークショップを開催し、子どもやお年寄りでも、参加しやすい大会とします。

1	Clara(クララ)の アート体験	大会のキャラクターでおなじみのClara作の手話パフォオリジナルぬりえコーナー
2	砂像色付体験	公式グッズ制作も行うモルタルマジックによる砂像色付け体験コーナー
3	缶バッジづくり	自分が描いた絵や手話パフォのロゴで自分だけの缶バッジをつくろう!

③HAND SIGN SCHOOL PROJECT



場所:①境港総合技術高等学校 ②米子東高等学校

期日:9月10日(月)

手話パフォーマー、HANDSIGNメンバーが米子市内の高校を訪れ、手話の魅力、大会の魅力を高校生にPRし、イベントへの来場を促進します。

大会公式テーマソング【大会当日・CM・WEBで使用可】

HANDSIGN「この手で奏でるありがとう」

第一回大会から手話パフォーマンス甲子園に携わっていただき、ろう者にも、絶大な人気を誇る、HANDSIGNの楽曲を、公式大会テーマソングとして使用。CMやWEBへ活用することで、音楽を通して高校生へのPRを図ります。



④手話パフォ スタンプラリー

会場内に5つのスタンプラリーボードを設置し、スタンプを集めると、「参加賞」がもらえる。



スタンプラリー
景品

スタンプを5つ集めた方、全員に①②のいずれかをプレゼント。

①障がい者福祉サービス事業所の商品をプレゼント。

②「手話パフォ×大山開山1300年」オリジナル花の種

⑤高校生が主体となった運営



地元 高校生の盛り上がりは不可欠

ボランティアだけでなく、販売コーナー、郷土芸能ステージ、ワークショップは、高校生に参加して頂き、手話の理解と普及、全国から集まる高校生同士の交流の推進・地域の活性化を図ります。

また、①WEB動画 ②CM ③新聞広告でも高校生「応援サポーター」(ろう者・聞こえる人)を起用します。

● 駐車場計画 約2,600台 (内ハートフル駐車場34台)

NO		一般	ハートフル	出演者	大型	合計
1	ビックシップ駐車場		34	20	4	58
2	ビックシップ前駐車場 無料対応	917				917
3	イオン米子駅前店 立体駐車場 無料対応	1561				1561
4	(臨時)西部総合事務所駐車場	100	←バス・スタッフ用として			100
	合計	2,578	34			約2,600



ビックシップ前駐車場が「満車」になった場合

イオン米子駅前店 立体駐車場に誘導

※2ビックシップ前駐車場・3イオン米子駅前店 立体駐車場は、総合案内で無料処理を行う

■ ビックシップ駐車場

●ハートフル34台 ●出演者・関係者24台 (内大型4)



ハートフル専用の駐車場を確保し、パスを発行します



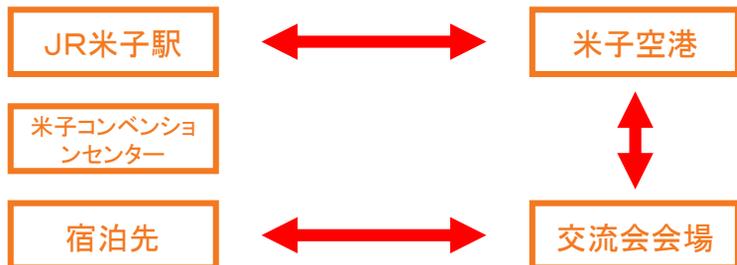
- 障がいのある方
- 車いすの方
- 歩行が大変な方
- 妊婦の方

- 1) 警備員が「ハートフル駐車場はご利用ですか？(ボード表示)」と伺い、該当した場合はパスを発行
- 2) 警備員が誘導して専用スペースへ
- 3) 必要がある場合、駐車場から総合案内までアテンド



●(前日当日 出場チーム・来賓)

必要に応じ、出場チーム・来賓の「JR米子駅」「米子コンベンションセンター」「宿泊先」「米子空港」「交流会会場」間の送迎を実施。



◎大型運行
 収容人数:26席
 (車イス1台)
 (立乗り時56名)
 低床バス スロープ付き

●(当日 来場者)

車イスが積載可能な福祉タクシー1台を配置

JR米子駅 ⇄ 米子コンベンションセンター

8:00~18:00 ※随時運行



ワークフロー

- ① JR米子駅・米子コンベンションセンター 福祉タクシー係を配置
- ② 福祉タクシーはどちらかに待機
- ③ 必要な方がいれば、携帯で呼び出し、随時送迎

それぞれのスタッフが乗車アテンドを行います。

① 出場者募集

- ・5月21日(月)参加申込み受付開始
- ・7月6日(金)参加申込み締切
- ・7月19日(木)予選審査動画の提出締切

② 予選審査会

- ・8月2日(木)予選審査会
- ・8月3日(金)予選審査会
→結果発表、本大会演技順番、選手宣誓チーム決定

③ 予選通過の通知

- ・8月7日(火)
あわせて、前日リハーサル時間を通知

④ ヒアリングシートの提出

- ・8月31日(金)(提出締切)
演技内容の詳細の報告
(シナリオ・使用楽曲・映像・照明・小道具)



⑤ 舞台監督とのMTG

- ・9月3日(月)～9月14日(金)
ヒアリングシートをもとに、舞台監督とメールや電話で打ち合わせを実施。

⑥ 演出素材提出

- ・9月21日(金) 本大会2週間前
本大会で使用する「演技撮影データ・映像(文字データ)・音声」を出場チームに提出いただく。
※こちらでデータの確認および著作権など問題ないか確認作業
※映像(文字データ)についてはPDFを推奨します
※情報保障担当者が、事前に内容を把握して当日を迎えます

⑦ リハーサル・交流会

- ・10月6日(土)

⑧ 本大会

- ・10月7日(日)



● 米子コンベンションセンターへの移動

必要に応じ、米子空港・JR米子駅(宿泊先周辺)～米子コンベンションセンターの送迎を行います

● リハーサル計画

(@米子コンベンションセンター 多目的ホール)
各チーム15分のリハーサルを実施し、最終演技内容・照明音響調整を行います
(午前中のリハーサルについては、近郊の県内チームを先に実施)

時間	内容			
10分	受付	リハーサル30分前に、出演者受付に集合、注意事項の説明		
10分	移動	舞台上手袖に移動		
10分	打合	舞台監督とリハーサル・本番の打ち合わせ		
15分	リハーサル	リハーサル開始後、15分経過時点で「終了」となります		
10分	解散	移動、交流会・明日の説明後、一時解散		
2018/08/07現在				
10月6日(土) リハーサル計画(仮)				
	リハ順	出場チーム	演技分類	集合時間
9:00	9:30 オールスタッフ集合			
9:15	リハーサル準備			
9:30				
9:45				
10:00	10:00 出演者受付開始			-
10:15				
10:30	1	米子東高等学校	鳥取県	10:00
10:45	2	境港総合技術高等学校	鳥取県	
11:00	3	琴の浦高等特別支援学校	鳥取県	10:30
11:15	4	鳥取城北高等学校	鳥取県	
11:30	調整・休憩			
11:45				
12:00	5	鳴尾高等学校	兵庫県	11:30
12:15	6	真和志高等学校	沖縄県	
12:30	7	ノートルダム清心高等学校・広島南特別支援学校	広島県	12:00
12:45	8	聖心学園中等教育学校	奈良県	
13:00	調整・休憩			
13:15				
13:30	9	日本女子大学附属高等学校	神奈川県	13:00
13:45	10	済美高等学校	愛媛県	
14:00	11	立川ろう学校・富士森高等学校	東京都	13:30
14:15	12	黒石原支援学校	熊本県	
14:30	13	中央ろう学校	東京都	14:00
14:45	14	熊本聾学校	熊本県	
15:00	調整・休憩			
15:15				
15:30	15	岡崎東高等学校	愛知県	15:00
15:45	16	三井高等学校	福岡県	
16:00	17	横浜南陵高等学校	神奈川県	15:30
16:15	18	杏和高等学校	愛知県	
16:30	19	田鶴浜高等学校	石川県	16:00
16:45	20	奈良県立ろう学校	奈良県	
17:00	最大延長 17:15まで			

● 練習会場計画(@米子コンベンションセンター 国際会議室)

リハーサル以外で、各1チーム1時間程度の練習ができるように会場内に出場チーム用に練習スペース(4エリア)を確保します。
(国際会議室をパネルパーティションにて4区分します)

時間	国際会議室			
	エリアA	エリアB	エリアC	エリアD
11:00	1	2		
12:00	3	4	5	
13:00	6	7	8	
14:00	9	10	11	12
15:00	13	14	15	16
16:00	17	18	19	20
17:00				



国際会議室

● 交流会への送迎

必要に応じ、米子コンベンションセンター～交流会会場への送迎を行います

● 米子コンベンションセンターへの送迎

必要に応じ、JR米子駅(宿泊先周辺)～米子コンベンションセンターの送迎を行います



● 座席にて待機



● 直前練習計画(@米子コンベンションセンター 国際会議室)

各チーム45分の直前練習を実施し、最終練習・着替えを行います。

(国際会議室をパネルパーティションにて4区分します)



● ステージスタンバイ

本番15分前には、舞台上手エリアにてスタンバイ



● 本番



● 昼食

こちらで弁当を準備し、座席もしくは直前練習会場(国際会議室)にて



● 表彰式

表彰式開始20分前に、舞台上手エリアにてスタンバイ



● 記念撮影

本番後、記念撮影を行います



● 主要交通期間への送迎

必要に応じ、米子空港・JR米子駅～米子コンベンションセンターの送迎を行います

<直前練習計画割>

時間	国際会議室			
	エリアA	エリアB	エリアC	エリアD
8:00				
	演技順 1	演技順 2	演技順 3	演技順 4
8:30				
9:00				
9:30				
10:00	演技順 5	演技順 6		
			演技順 7	演技順 8
10:30	演技順 9	演技順 10		
11:00				
11:30				
12:00	演技順 11	演技順 12		
			演技順 13	
12:30	演技順 14	演技順 15		
13:00				
	演技順 16	演技順 17		
			演技順 18	演技順 19
14:00	演技順 20			
14:30				

全国に誇る アクセシビリティな大会へ

ろう者をはじめ、障がいの有無に関わらず、あらゆる人が参加しやすい環境を作ります。

鳥取県の価値を高めます



聴覚障がい	大型LEDスクリーン	ステージに大型スクリーンを設置し、①手話通訳 ②要約筆記 ③ライブ映像の3つの情報集約し、ひとつのスクリーンで全ての情報を得られるようにします
	上手下手スクリーン	上手下手にスクリーンを設置し、演技中は、ライブ映像を配信し、選手の表情が見れるようにします。また、緊急時は、大型スクリーン同様、文字情報で、状況の説明を行います。
	手話通訳	ステージに手話通訳スタッフを配置します。
	要約筆記	ステージスクリーンに要約筆記を表示します
	手話スタッフの配置	総合案内・ホール等に手話スタッフを配置します。
	情報ボード	総合案内に情報ボードを設置し、現在のステージの演技者情報、緊急時情報などを表示します。
	タブレット文字情報	会場にタブレット端末を配置し、要約筆記の文字をお手元でご覧いただけます。(台数10台)
視覚障がい	SPコード	チラシやプログラムにSPコードを配置します
肢体不自由	車椅子席の設置	車椅子席 + 介添用席を設けています。
全体	ハートフル席の設置	体の不自由な方や介添の方に、ゆとりのある席で見てもらうため、ハートフル席を設置。自己申告制で、優先的に席にご案内します
	ハートフルスタッフ	サポートが必要な方には、ハートフルスタッフが付き添い、イベント期間中にサポートを行います。
	救護室の設置	重度の障がい者など、観覧中に、休憩したい方のために、横になれるベッドを備えた救護室を設置。専門のスタッフを配置しています。
	情報パネル	エントランスロビーに情報パネルを設置し、どこでどんなイベントが行われているかを、分かりやすくします。
	SNSでの情報発信	大会当日、SNSで情報発信し、文字を通して情報共有して頂きます。
	インターネット動画配信	会場に来れない方のために、インターネットでの動画配信を行います。
	福祉タクシー	当日は、JR米子駅に福祉タクシーを配置し、車イスでの来場のサポートを行います。



運営スタッフのおもてなしの心

■緊急時対応(荒天時)

イベント開催日 AM5:00時点

主催者と協議の上

米子市内に警報が発令

開催か中止の判断

中止の場合

- ◎鳥取県⇒各関係機関へ連絡
- ◎統括⇒各班へ連絡
- ◎進行班⇒各出演者へ連絡
- ◎出演者班⇒出場チームへ連絡

- ・来場者へは、会場「3×6看板」に「本日は中止となりました」紙を張り 周知を行う
- ・来場者対応として、スタッフを配置し、中止を喚起
- ・特設HP/Facebook等で、中止を告知

開催の場合

- ◎鳥取県⇒各関係機関へ連絡
- ◎統括⇒各班へ連絡
- ◎進行班⇒各出演者へ連絡
- ◎出演者班⇒出場チームへ連絡

- ・特設HP/Facebook等で、開催を告知

- ◎3×6看板へのビニールがけ
- ◎傘袋の用意等

■緊急時対応(ケガ・病気)

ケガ・急病

発見者

- 疾病者の症状の確認(意識・心拍・呼吸・出血等)
- 応急手当(現場で出来ること)
- 会場・総合案内班へ連絡(総合案内)
- 救護係が到着するまで、付添

連絡

総合案内班

連絡

会場・総合案内班・救護係

傷病者の対応

- 看護師と現場に行き、応急手当
- 経過観察か救急車の出動か判断
- 軽度のケガの場合
応急手当・救護室で経過観察

本部

来場者の対応

- 現場に行き、状況確認・情報収集
保護者・学校・連絡先など
- 会館へ連絡
- 人除け、手話通訳などが必要な場合、
協力要請

連絡

救急車の出動・要請が必要な場合

会館から通報【119番】

会場・総合案内班・救護係

付添搬送

【医療機関】 処置

* 状況が落ち着いてから、記録をまとめ、会場・総合案内班統括へ連絡

火災発生

発見者

- 火気の消化(可能であれば初期消火)

本部

会館から通報【119番】

全スタッフ

- ①火災状況の確認
- ②来場者がパニックにならないよう
落ち着かせる

地震発生

全スタッフ

- ①安全確保(頭を下げて、前に屈む)
→「転倒・落下」の危険があるものから遠ざける
- ②来場者がパニックにならないよう
落ち着かせる

各班の対応

本部

- 被害状況をまとめる

進行班

- 司会者・テロップで告知
「火災が発生しました。
状況を確認していますので、落ち着いて指示をお待ちください。」

【ステージ・袖の出場チーム・出演者誘導】

出演者班

- 学校単位で集め、人数確認
- 落ち着かせて、指示を待つ

【座席の出場チーム誘導】

会場・総合案内班／ホール班／来賓班

- 情報ボードで告知、落ち着かせる
- 各班の手話通訳者・スタッフを、高台に上げ、情報を伝達

【ホール・会場の来場者を誘導】

駐車場班

- 避難場所の確保
- 緊急車両の進入路確保

各班の対応

本部

- 最新の災害情報入手(テレビ・ラジオ・インターネット)
- 被害状況をまとめる

進行班

- 司会者・テロップで告知
「地震が発生しました。荷物などで頭を覆い、「転倒・落下」の危険があるものから遠ざかってください。状況を確認していますので、落ち着いて指示をお待ちください。」

【ステージ・袖の出場チーム・出演者誘導】

出演者班

- 学校単位で集め、人数確認
- 落ち着かせて、指示を待つ

【座席の出場チーム誘導】

会場・総合案内班／ホール班／来賓班

- 情報ボードで告知、落ち着かせる
- 各班の手話通訳者・スタッフを、高台に上げ、情報を伝達
- 救護係は、救急道具を持って本部へ

【ホール・会場の来場者を誘導】

駐車場班

- 避難場所の安全確認(4か所)
- 緊急車両の進入路確保

「各統括係」(各班)

状況報告

指示

本部(緊急対策本部)

【鳥取県・JV・センター 本部集合】

- 火災・被害状況の確認
- 避難経路・避難場所の指示

【避難場所】

4つのエリアに分け、誘導

- ①出場チーム 【出演者班】
- ②聞こえる人 【ホール班】
- ③ろう者 【進行班】
- ④負傷者 【会場・総合案内班】

◎ 広報一覧

内容	仕様	部数	5月	6月	7月	8月	9月
ポスター	B1 40枚				納品		
	B2 9,000枚				納品		
チラシ①	出場チーム決定前	A4 30,000枚		納品			
チラシ②	出場チーム決定後	A4 160,000枚				納品	
のぼり	開催PR篇	300枚			納品	設営	
のぼり	大会紹介篇	30枚			納品		
卓上のぼり	開催PR篇	80枚			納品		
卓上のぼり	大会紹介篇	30枚			納品		
横断幕	W800cm×H90cm	1枚			納品	設営	
懸垂幕	W90cm×H1000cm	1枚			納品	設営	
	W70cm×H840cm	1枚			納品	設営	
うちわ	5,000枚				納品		
封筒	10,000枚				納品		
大会PR映像①	参加チーム募集案内			納品			
大会PR映像②	大会の紹介、出場チーム決定					納品	
大会PR映像③	大会及び出場チームの紹介						納品
大会PR映像④	大会ダイジェスト、次回大会の告知						10月以降納品
記録映像	大会ダイジェスト(100分)						10月以降納品
テレビCM	大会開催篇	NKT 15秒×30本					放送
ラジオCM	大会開催篇	FM山陰 20秒×5					放送
テレビ番組①	大会開催篇	NKT 2分番組					放送
テレビ番組②	大会開催篇	NKT 2分番組					放送
新聞広告①	大会開催篇	記事体広告					掲載
新聞広告②	大会開催篇	記事体広告					掲載
新聞広告③	大会開催篇	記事体広告					掲載
折込広告	チラシ②を使用	30,000部折込					折込
地元情報誌	ウサギの耳(東部・中部版)						掲載
地元情報誌	ウサギの耳(西部版)						掲載
報告書	大会開催篇	7,000部					10月以降納品
パブリシティ	新聞・テレビ等で随時実施。						

- ・その他県広報誌等の媒体やイベント等でのPRを実施
- ・新聞、テレビの記事やニュースを通じて大会情報を発信



■ 日本海新聞 ◎ 県内全域 169,000世帯に配布！ ◎ 普及率75.8%

① 記事体広告 カラー3回(9/15(金)、9/28(金)、10/5(金) 予定)



純粋な広告ではなく、ARを用い紙面と動画を連携して掲載します。

掲載面(生活情報面):
カラー見開きとなり、読者に注目されています

② うさぎの耳 1頁(記事7段+全4段カラー) * 東中部版・西部版
9/27(木)発行予定



高校生が紹介！手話パフォーマンス甲子園

高校生応援サポーターがイベントを紹介することで、高校生への興味・関心を訴求します。

113,269部(東中部版)・70,000部(西部版)
日本海新聞折込+コンビニ・スーパーなど150箇所に設置(鳥取県東部・中部、兵庫県但馬地域)

③ 特集記事・記事などで随時情報発信



①②③で



「広告」としてだけでなく「情報」として
多くの県民へ大会の魅力・情報を発信！

■ 日本海テレビ

- 放送エリア 鳥取県・島根県全域
- 視聴可能世帯 鳥取県 215,623世帯・島根県 262,219世帯／計 477,842世帯
- 視聴率 県内3局の中で、ダントツに視聴率が高く、全時間帯で視聴率3冠を獲得

①大会PR番組 2分*2回放送／10月1日(月)・2日(火) 22:56~23:00放送



内容

予選審査会の様子、出場チームの紹介、見どころ、出場する地元チームへ取材したもの等

※視聴率(2017年度下期平均視聴率)

10月1日 16.1% / 10月2日 14.7%

※NTVの特番編成により放送時間の変更の可能性あり



②TVCM 15秒*30本／大会開催1週間前後から放送



内容

大会、大会開催告知をPR
CMIには、高校生「応援サポーター」を起用

③スパイスカフェ 5分程度／9月29日(土)放送



内容

高校生「応援サポーター」が、番組に生出演して大会をPR

④ニュースevery内で、大会を告知



内容

ニュース内にて、大会直前に地元出場チームの紹介を行います

高校生「応援サポーター」を起用



手話パフォーマンス甲子園自動販売機
除幕を行う応援サポーター(8月20日)

手話・ろう者への理解、交流を促進するため、特に地元
高校生の盛り上がりは不可欠であると考えています。
そこで、「応援サポーター」として、県内の高校生を起用。
WEB動画などのナビゲーターを担当し、つながる機会を
作ります。

応援サポーター(①ウェブ映像 ②CM ③番組 ④地元情報誌でのPR出演を担当)



鳥取敬愛高等学校
河口 真里奈
(かわぐち まりな)



湯梨浜学園高等学校
鎌田 一伽
(かまだ いちか)



米子北高等学校
橋本 颯
(たちばなき はやて)

WEB動画

HANDSIGNが提供する公式ソングに加え、各種素材を活用し、効果的な動画制作を行います。



参加チーム募集篇

昨年の感動的なシーンを多用し、
高校生に届くようなスタイリッシュな映像を制作

大会紹介(出場チーム)篇

大会の目的や意義などを分かりやすく紹介すると同時に出場
チーム決定を速報版として制作

大会紹介(会場イベント)篇

大会紹介篇に加え、会場イベントも紹介して、
来場促進につなげます。

ダイジェスト篇

今年撮影した動画を使って、感動的なダイジェスト映像にし、第6
回大会の告知へつなげます。



CM

WEB動画に登場した3人の「応援サポーター」が、出場チームの練習の様子をバックに大会の魅力を伝えます。

●予選審査会 1日目 8月2日(木)

- ・ビデオ審査(動画上映3分+審査2分*各チーム)
※10チームごとに休憩を挟みながら実施
※申込チーム数により、2日目もビデオ審査を実施する



●予選審査会 2日目 8月3日(金)

- ・出場チーム選出協議
- ・審査結果発表会/演技順抽選会

【審査員】4名(庄崎審査員長、小中審査員、門審査員、寺川審査員)

時間	内容
11:45	●報道・一般受付
12:00 ~	●式次第 1 司会あいさつ ◎手話パフォーマンス甲子園の開催趣旨等を説明 2 主催者あいさつ及び概要説明【鳥取県】 ◎大会概要 ◎募集結果 ◎選出方法 ◎審査会の状況 ◎当日の発表順について 3 審査委員長あいさつ【庄崎審査員長】 ◎審査の全体の状況を説明 4 審査発表【庄崎審査員長】 i 地域ブロック 6チーム ii 得点枠 12~13チーム iii 開催地枠 1チーム又はなし iv 初出場枠 1チーム v 全体の講評 5 本大会発表順抽選方法説明 i 出場チームの得点20位~11位を発表 ii 午前中の演技順を抽選 ※1番目=初出場枠、2番目=開催地枠 iii 出場チームの得点10位~1位を発表 iv 午後の演技順を抽選 v 選手宣誓チームの抽選 6 庄崎審査員長あいさつ 7 閉会のあいさつ【司会者】
12:50	●終了

●予選審査会 モニター・配信/情報保障計画

ライブ配信映像(結果発表の様子)は、画面を4分割し配信します。

- ①手話通訳者(より)
- ②スクリーン映像
- ③ライブ映像
- ④要約筆記

※手話で話す場合

③のライブ映像は、手話の読み取りがしやすいようにアップで配信します。



- 日 時 平成30年10月6日(土)18:00~20:00
- 会 場 ANAクラウンプラザホテル米子 飛鳥の間
(米子市久米町53番2)
- 主 催 鳥取県、手話パフォーマンス甲子園実行委員会
- 出席者 約250名
 出場者(生徒、引率者)
 出演者(司会、審査員、ゲスト等)
 来賓(全日本ろうあ連盟、日本財団、国・県議会議員等)
 主催者等(鳥取県、鳥取県聴覚障害者協会、
 手話パフォーマンス甲子園実行委員会委員等)
- 形 式 立食ビュッフェ方式、テーブル指定
- 次 第

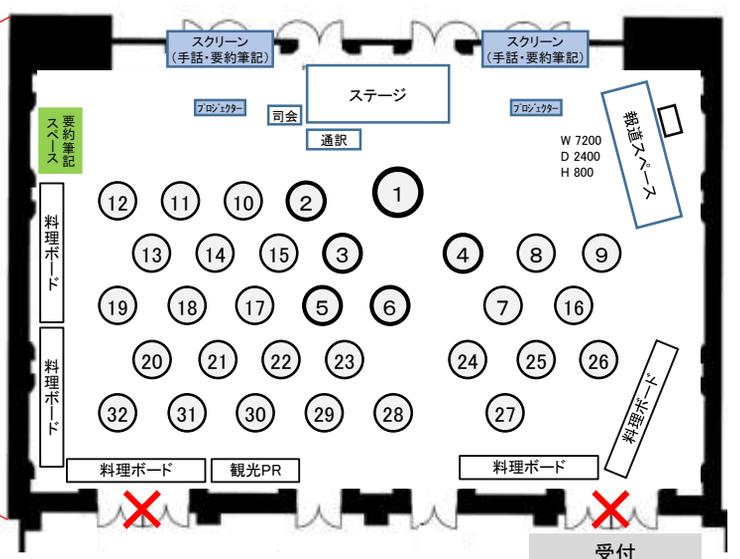
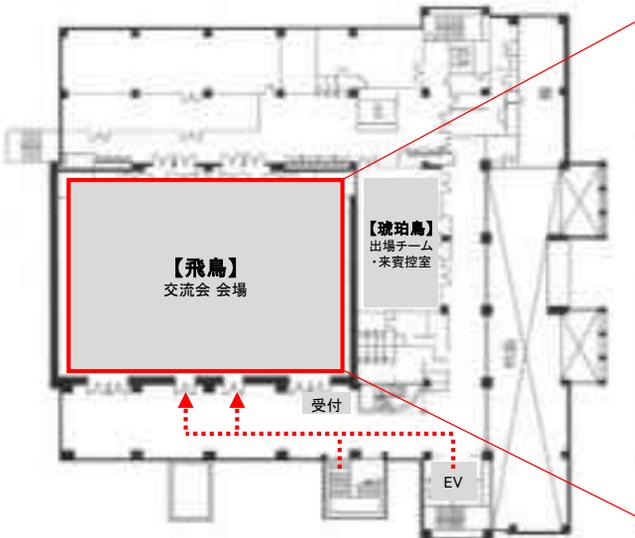


時間	項目	内容
18:00	開会	
	主催者あいさつ	実行委員会会長
	乾杯	
	歓談	(出席者間で交流を深める)
	演技司会者紹介	
18:40	出場チームの抱負	各出場チームごとに、大会への意気込みを発表
19:00	歓談	
	ゲストパフォーマンス	井崎哲也氏(サインマイム)
	歓談	
	出場チームへのエール	審査委員長
	閉会あいさつ	主催者
20:00	閉会	



■ 会場図(2階)

■ 飛鳥の間(仮) ※出場チーム決定後、レイアウト調整



20チーム（22校）以下、演技順

都道府県名	学校名	本大会 出場回数	演技分類	チーム紹介
鳥取県	琴の浦高等特別支援学校 	初出場	ダンス	琴の浦高等特別支援学校ダンス部です。私たちの学校は、この10月で創立6周年を迎えました。今年初出場することができて、いろんな方へ感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。今回使用する曲は、とてもすてきな歌詞で、部員みんなが共感できました。手話ダンスは難しく大変ですが、この気持ちを皆さんに伝えることができるよう、全力で頑張ります。みんなでダンスできる喜びと共に、皆さんに笑顔をお届けしたいと思います。どうぞよろしくお願いします。
鳥取県	鳥取城北高等学校 	4回目	漫才・大喜利	“手話の聖地”鳥取へようこそ。私たちは手話を学ぶ仲間たちが全国から集まるこの大会が本当に大好きです。今年もまたみんなで新たな学び、気づきを共有し、楽しいひと時を過ごしましょう！今回の私たちのテーマは“手話de大喜利”です。手話を使った漫才となぞかけに挑戦します。日本語の掛け詞を用いた言葉遊びを手話で表現しました。呼んでいただいたイベントでは、そのテーマに合った漫才、なぞかけを披露し、腕を磨いてきました。いよいよ本番です。手話パフォーマンス甲子園でのテーマはもちろん…。お楽しみに。
神奈川県	日本女子大学附属高等学校 	初出場	人形劇	日本女子大学附属高等学校の人形劇団ペロッコです。普段は童話などの人形劇を通じて老人ホームや障がい者施設などで交流をしています。そんな私たちは手話に出会いました。部員のほとんどは手話の経験がありません。どうすれば伝わるのかと初めての手話に戸惑い、試行錯誤しながら練習を積み重ねていきました。そして次第に、皆で心を合わせてひとつのものを作り上げることの楽しさや楽しさを知りました。手話と人形劇が融合した、楽しくて夢のある世界に皆さんをご案内します！
鳥取県	境港総合技術高等学校 	5回目	演劇	地元鳥取県から5年連続の出場を果たした境港総合技術高校福祉科ボランティアコース19人です。私たちは地元保育園の「境港お魚探検隊」活動の高校生サポーター役として子どもたちと出会い、交流を重ねています。子どもたちのまっすぐな優しさをもって私たちも自然と笑顔になっていくのを感じます。小さな頃から手話に親しんでもらいたいという願いを込めて、子どもたちへの手話活動を続けてきました。今日はその中の手話朗読劇「おへそのあな」を披露します。あたたかい絵本の世界を大事にしたパフォーマンスを見てください。
広島県	ノートルダム清心高等学校 広島南特別支援学校 	2回目 初出場	歌唱・ギター演奏	私たちは広島南特別支援学校とノートルダム清心高等学校“しゅわっち”（手話同好会）の合同チームです。私たちの先輩の代から交流があり、今回初めて2校一緒に出場することになりました。コミュニケーション方法の違いなど様々な壁がありましたが、お互いの個性を認め合い、共に壁を乗り越えることで友情や絆を深めてきました。今回の演技はそんな私たちのこれまでの交流の集大成です。今まで私たちが広島の高校生の視点で考えてきたことを、手話で一息懸命伝えたいと思います。

都道府県名	学校名	本大会 出場回数	演技分類	チーム紹介
愛媛県	済美高等学校 	初出場	ナレーション・歌唱	済美高校2年生12名のチームです。手話の経験が全くない私達ですが、校訓「やればできる」を信じてゼロからスタートしました。高校での震災学習を通して学んだこと、感じたことを伝えます。私達のふるさと愛媛も西日本豪雨災害で被災しました。全国からの温かいご支援に心から感謝しています。また、手話と関わることで、多くの方々からお話を伺うことができ、障がい者の方が安全に避難することの大変さ、情報伝達の大切さを学ぶことができました。愛媛からのこの想いが、全国各地の皆さんに届きますよう、願いを込めて頑張ります。
東京都	立川ろう学校 富士森高等学校 	3回目 初出場	演劇・ダンス・イリュージョン	都立立川ろう学校と初参加初出場の都立富士森高校ボランティア部との合同チームで挑戦します。今年のテーマは“情熱”です。日本全国を55歳から17年間かけて歩いて測量し、日本地図を完成させた伊能忠敬の人生と耳の聞こえないリコが愛してやまない阿波踊りのパフォーマンスという強引な筋書きで展開します。 最後は軽快なラップ調の音楽での阿波踊りとアッと驚くようなイリュージョンで会場を大いに盛り上げたいと思います。是非一緒に手拍子をお願いします。
奈良県	聖心学園中等教育学校 	3回目	ダンス	聖心学園中等教育学校の創作ダンス部(通称S.D.C)です。私達の学校は中高一貫校で、普段は中学1年生から高校2年生までと一緒に活動しています。部員のほとんどが未経験者ですが、チアダンスやタップダンスなど、様々なジャンルのダンスに挑戦しています。中でも今回はサインダンスを踊ります。サインダンスは手話を取り入れたダンスで、先輩方から十年間代々受け継ぎ、様々な曲を表現してきました。今日はレミオロメンの「粉雪」を踊ります。この曲の素晴らしいさが全ての人に伝わるよう、一生懸命頑張ります。「Let's go S.D.C! We are NO.1!!」
兵庫県	鳴尾高等学校 	初出場	歌唱・ダンス	兵庫県立鳴尾高等学校は高校野球球児が目指す、甲子園球場の近くにある高校です。私たちはそこで「教育・看護・福祉」の勉強を通じて、「リーダーシップ」や「コミュニケーション能力」を高めるために様々な活動を行っており、授業の一環で手話についても学びました。この手話パフォーマンス甲子園への参加も今年で3回目となりますが、いつも予選通過は果たせませんでした。今回は過去の審査結果で頂いたアドバイスを元に、元気に愉しく手話を表現しようと努めました。この大会に参加された皆さんが愉しくなるように表現します。
熊本県	黒石原支援学校 	初出場	演劇・コント・ボエム	初出場の熊本県立黒石原支援学校です。メンバーは現在1年生1人しかいませんが、ボランティアで手話通訳をする等、手話を自分の生きがいとして日夜取り組んでいます。今回憧れていた大会に出場が決まり、とてもうれしいです。今年度は、車椅子で生活している自分が日常の中で感じたことをテーマに、手話パフォーマンスを通して悩みや思い等みなさんにしっかりと伝えたいと思います。たくさんの人の前に1人で立ったり、気持ちを人前で表現したりすることはとても緊張しますが、自分にできるベストを尽くして頑張ります。

都道府県名	学校名	本大会 出場回数	演技分類	チーム紹介
東京都	中央ろう学校 	3回目	ダンス・演劇	東京都立中央ろう学校高等部生活文化部です。生活文化部では、部誌作りや茶道体験、調理実習、文化祭でのステージ発表など、活動内容は生徒自身で決められるのでやりたい事を実現できる自主性を大切にしたい部活です。昨年、一昨年と手話パフォーマンス甲子園に出場することが出来ましたが、自分たちの良さをあまり発揮することが出来ませんでした。今年度は、映画「THE GREATEST SHOWMAN」を見て感じた感動を様々な表現方法を用いる事で私たち一人一人の良さや魅力を出し、会場と一体になって最高のステージにしていきたいと思っています。
沖縄県	真和志高等学校 	5回目	ダンス	今年で、連続出場5回目となる真和志高校です。私たち手話部は、とても賑やかで個性的な人が揃っています。皆で手話を教え合い、協力し、楽しく練習をしています。また、過去には準優勝、審査員特別賞を頂きました。昨年度の大会以降は、沖縄県内でも手話の普及イベントやテレビ番組の取材も受け、沖縄県の手話普及運動に協力させて頂きました。私たちの活動が、一人でも多くの人に手話の必要性を知ってもらえるよう今後も活動していきます。その前進となる今大会では、悲願の優勝目指して頑張ります。
熊本県	熊本聾学校 	4回目	落語・漫才	4回目の出場になる熊本聾学校。今年は手話落語の笑いで勝負します。熊本手話落語部は、「大喜利」の形態模写当て「コント」や本格的な「小噺」の演目で活動し、学校や地域で発表し喜ばれています。本来「大喜利」は1つの題を1人で演技披露します。しかし、手話パフォーマンス甲子園では、特別に、中心になる1人だけでなく、5人全員がかけあいや合いの手を入れてにぎやかに演技します。また、お客様に答えを当てていただく時間は省略しますので、「あれはきっと〇〇だ」と客席で考えてみてください。さあ、笑いの世界へどうぞ！
愛知県	岡崎東高等学校 	3回目	ダンス・短歌	私たちはJRC部手話有志チーム「smile」です。ボランティア精神溢れる8人がJRC部入部により手話と出逢い、手話に惹かれていきました。私たちは、JRCの活動を通して多くの方と出会いました。みなさん素敵な笑顔で私たちと接してくれ、ボランティア活動に参加している私たちの方が多くの元気をもらいました。そんな誰もが、笑って共に生きていける社会、「共生社会」の大切さを痛感しました。手話パフォーマンスを通して、一人でも多くの方が「共生社会」を考えるきっかけになって頂きたいです。
鳥取県	米子東高等学校 	初出場	ダンス	こんにちは。ようこそ、米子へ！私たちは、鳥取県立米子東高等学校ダンス部です。私たちは、手話パフォーマンス甲子園初出場で、一つ一つが0からのスタートでしたが、手話について学んでいくうちに、手話で会話をできるようにになりたいという思いや、手話をもっと書の中に伝えたいという思いが強くなりました。この思いを、HAND SIGNさんの「僕が君の耳になる」に乗せて、米子東高校バージョンでお届けします。本大会は、私たちが生まれ育った、ここ鳥取県米子市で開催されるので、みなさんに米子の良さも感じていただけたら幸いです！

■本大会出場チーム

都道府県名	学校名	本大会 出場回数	演技分類	チーム紹介
福岡県	三井高等学校 	5回目	歌唱・ダンス	手話ソングが大好きな三井高校スクラブボランティア部です。今年は国際手話ソングとダンスを交え、それぞれの個性と、現在の高校生活の楽しさについて「true colors」「キミの夢はボクの夢。」の2曲を披露します。
神奈川県	横浜南陵高等学校 	3回目	演劇・コント	私たち社会福祉部は、手話ソング・通訳、ボランティア活動を通じ、手話や聴覚障害者への理解を広めるべく活動しています。言葉が通じなくても、ニコッと笑えば心の壁が消えて気持ちを通じるように、笑顔には秘めたパワーがあります。最近物騒な事件や災害が増えているからこそ、笑顔で過ごせる時間はかけがえのないものです。そこで今回は、笑顔をテーマにコント劇に挑戦します。会場の皆さんに笑顔と幸せを届けられるように頑張ります！「地球での溢れる笑顔が見たいと言いついたおてんばすぎる姫の大冒険が今始まる…!？」
愛知県	杏和高等学校 	4回目	狂言	「尾張の歴史紹介と伝統芸能の継承」をテーマに、尾張新作狂言「おそそ仁王」(やまかわさとみ作)を演じます。地震と洪水の爪痕が残る尾張の国。狐たちが洪水で足を悪くし疫病にかかった母のために、美肌に御利益のある「おそそさま」なる秘仏を盗みだそうと、名刹・基目寺に仏師に化けて訪ねてきます。坊主と尼に仁王像の見本体を努めさせ、浮かれさせたその隙に「おそそさま」を盗み出そうとしますが、どうなることやら……。狂言独特の語り口調や所作、そして小鼓や笛の演奏も見所の一つです。どうぞお楽しみに！
石川県	田鶴浜高等学校 	5回目	歌唱・演劇	「手話は言語」何の疑問も抱かず、分かった気になっていた私たち。何も分かっていなかった。手話での会話が当たり前の空間で感じた不安、孤独。ようやく気がついた。孤独は「言葉を奪い、生きる意欲を奪うこと」だと。分かったような気になったり「知らない」と、目をそらしたりするのではなく、現実に目を向け、感じ、障害の有無や、状況に関係なく、孤独を感じている人を「知るための一歩」を踏み出すことの意味。「全ての人が、自分らしく、自分の言葉で語り、安心して生活出来る社会」の実現のために、私達は動き出します。
奈良県	奈良県立ろう学校 	5回目	演劇	奈良ろう演劇部は「表現の世界に障害の壁はない」をモットーに創部15周年を迎えました。今回発表する作品のテーマは「希望」です。今から33年前の524人の死傷者を招いた大惨事日航機墜落事故の犠牲者の歌手の坂本九さんを悼み、その笑顔と歌からどんな逆境にみまわれようと希望を失うことなく、今を生きる幸福観を描きました。僕たちの熱い思いと美しくして、パワフルな世界観をカいっばい表現したいと思います。第5回大会の最後の舞台上で、多くの方々のご記憶にいつまでも残るよう、感動してもらえるように頑張ります！



○主催

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

鳥取県・鳥取県教育委員会・全日本ろうあ連盟・日本財団
鳥取県聴覚障害者協会・全国手話通訳問題研究会鳥取支部・鳥取県商工会議所連合会

○共催

鳥取県・公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

○特別協力

全日本ろうあ連盟

○特別協賛

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

○後援(予定)

内閣府、厚生労働省、文部科学省、米子市、手話を広める知事の会、全国手話言語市区長会、一般社団法人全国手話通訳問題研究会、一般社団法人日本手話通訳士協会、全国聾学校長会、全国高等学校文化連盟、社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団、社会福祉法人NHK厚生文化事業団、社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国難聴児を持つ親の会、日本演劇教育連盟、日本障害フォーラム、日本赤十字社鳥取県支部、鳥取県青少年赤十字指導者協議会、朝日新聞社、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、産経新聞社、日本経済新聞社鳥取支局、新日本海新聞社、山陰中央新報社、中国新聞鳥取支局、共同通信社鳥取支局、時事通信社鳥取支局、NHK鳥取放送局、BSS山陰放送、日本海テレビ、TSK山陰中央テレビ、テレビ朝日鳥取支局、鳥取県ケーブルテレビ協議会、エフエム山陰、FM鳥取、DARAZ FM

第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園

本大会審査実施要領

1 概要

- (1) 日程 平成30年10月7日(日)
 (2) 場所 米子コンベンションセンター 多目的ホール (鳥取県米子市末広町294番地)

2 審査員

審査員は、ろう者3名及び聞こえる人3名の計6名とし、このうち1名を審査員長とする。

[審査員一覧]

役割	氏名(敬称略)		役職等	
審査員長	庄崎 隆志	しょうざき たかし	演出家・俳優	ろう者
審査員	小中 栄一	こなか えいいち	全日本ろうあ連盟副理事長	ろう者
	貴田 みどり	きだ みどり	女優・ダンサー	ろう者
	門 秀彦	かど ひでひこ	絵かき	聞こえる人
	金沢 映子	かなざわ えいこ	舞台女優	聞こえる人
	寺川 志奈子	てらかわ しなこ	鳥取大学地域学部教授	聞こえる人

3 審査方法

5の採点方法に基づき、各審査員が各チームの演技を審査、採点し、その合計を各チームの審査得点とする。

4 演技時間等

- (1) 演技時間は、6分以上8分以内とする。
 (2) 演技は、司会者が「どうぞ」と演技開始の声掛けを行ったときから開始し、生徒の「ありがとうございました」の発声又は手話をもって終了する。
 (3) 各チームの演技時間の実績は、主催者が計測した時間とする。なお、演技時間の開始及び終了のタイミングは、(2)に基づき(不明確な場合も含め)主催者が判断することとする。
 (4) 舞台上に演技時間の経過を示すライト(4色カラー)を設置する。カラー表示は以下のとおりとする。

・演技開始後	→	白
・6分経過(演技時間下限到達。残り2分前)	→	青
・7分30秒経過(残り30秒前)	→	黄
・8分超過(演技時間上限超過)	→	赤

- (5) 演技の準備時間は、概ね1分以内とする。
 (6) 演技は舞台上の定められたエリア内で行うこと。また、演技者である生徒以外が舞台に立つことは認められない。なお、障がい等により、演技を行う際に補助が必要な場合は、舞台の下や袖から補助動作を行うことは認める。(合図を出す、リズムを示す、音声通訳を行う 等)

5 採点方法

(1) 各審査員が、次の表に掲げる審査項目を担当項目別に採点する。

審査員	手話言語の正確性・ 分かりやすさ	演出力・ パフォーマンス度	合 計
ろう者	(30 点満点)	(30 点満点)	(60 点満点)
ろう者	(30 点満点)	(30 点満点)	(60 点満点)
ろう者	(30 点満点)	(30 点満点)	(60 点満点)
聞こえる人		(40 点満点)	(40 点満点)
聞こえる人		(40 点満点)	(40 点満点)
聞こえる人		(40 点満点)	(40 点満点)
合計	(90 点満点)	(210 点満点)	(300 点満点)

(2) 各審査項目の採点の観点は次のとおりとする。

ア 手話言語の正確性・分かりやすさ

手話言語が正しく表現されているか。顔の表情も使って、分かりやすく表現されているか。演技者が表現したい内容が手話言語で伝わり、理解できるか。

イ 演出力・パフォーマンス度

チームとしての一体感があるか。機知に富み観客を魅了する表現力、ひたむきさがあるか。演技者が込めた思いやメッセージがしっかりと伝わってくるか。構成や演出がよく工夫されているか。演技の構成がスクリーンの表示に頼りすぎたものになっていないか。

(3) 演技等が次に該当する場合は、当該各号に記載のとおり失格又は審査得点から減点とすることとし、審査員の協議（減点の点数の定めがないものは、その点数も含む。）により決定する。なお、協議の結果、意見がまとまらない場合は、審査員長が決定する。

項 目	内 容
差別的表現、わいせつ表現、特定の個人・団体の誹謗中傷、その他公序良俗に反する内容が含まれる場合	失格
第三者の権利を著しく侵害する内容が含まれる場合	失格
演技者である生徒以外の者が舞台上に立ち入り、演技又は演技の補助を行った場合	20 点減点
定められた演技時間の上限を超過した場合 (例：10 秒超過 △10 点、45 秒超過 △20 点、1 分 20 秒超過 △30 点)	30 秒超過ごとに 10 点減点
定められた演技時間の下限に達しなかった場合	10 点減点
演技上のセリフや手話に対応した字幕の表示が不十分な場合	10 点減点
その他、定められたルールに反した場合※	5 点減点
その他、不適切と認められる演技又は行為	失格又は減点

※ 「その他、定められたルールに反した場合」とは、以下のとおりとする。ただし、その違反の程度が軽微で、特に審査等に影響がないと判断される場合は除く。

- ・ 1 分を大幅に超えて準備に時間を要した場合。
- ・ 舞台上の定められたエリア以外で演技を続けた場合。
- ・ 演技終了の合図（「ありがとうございました」の発声又は手話）を全く行わず、演技を終了させた場合。

6 表彰チームの決定方法

- (1) 優勝、準優勝及び3位は、審査得点の順により決定する。
- (2) 審査得点と同点となり、順位を審査得点で決められない場合は、以下のとおり順位を決定する。
 - ア 「手話の正確性・分かりやすさ」の審査項目の高いチームを上位チームとする。
 - イ アが同点の場合は、審査員の多数決で上位チームを決定する。
 - ウ イが同点の場合は、審査員長が順位を決定する。
- (3) 審査員特別賞は、審査員で協議の上、審査員長が決定する。
- (4) 全日本ろうあ連盟賞は、全日本ろうあ連盟が決定する。
- (5) 日本財団賞は、日本財団が決定する。
- (6) 鳥取県聴覚障害者協会賞は、鳥取県聴覚障害者協会が決定する。
- (7) 上記の賞を受賞しなかった本大会出場チーム全てに、梨花賞を授与するものとする。

7 結果通知及び公表

- (1) 大会終了後、各チームに対し、審査得点、順位及び審査員評（審査員名は非公開）を送付する。
- (2) 受賞チームについて、チーム名及び審査得点（優勝、準優勝及び3位に限る。）を、大会公式ホームページに掲載する。

資料4

第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に係る今後の日程について

平成30年8月31日現在

日程	内容	備考
平成30年2月7日	H29 実行委員会総会	第5回大会開催決定、第5回大会基本計画、H29 補正予算
平成30年2月20日	H29 第4回企画推進会議	第5回大会開催要項、予選審査・選考方法
平成30年4月12日	第5回大会の開催日決定	同日、第5回大会の日程及び開催要項公表
平成30年4月	H30 実行委員会（第1回書面会議）	
平成30年4月	大会チラシ、ポスター等の送付	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の高等学校、特別支援学校等 ・各都道府県、政令指定都市 (障がい福祉担当課、教育委員会) ・手話言語条例制定市町 ・各都道府県全国ろうあ連盟加盟団体 ・県内各市町村 ・県内公共施設 等
平成30年5月21日	参加申込み受付開始	
平成30年7月5日(木)	H30 企画推進会議(第1回)	第5回大会実施計画等
平成30年7月6日(金)	参加申込み期限	
平成30年7月19日(木)	予選審査動画の提出期限	
平成30年8月2日(木) 8月3日(金)	予選審査会 結果発表	動画視聴による審査。 3日に結果発表、本大会演技順番、選手宣誓チームの決定
平成30年8月31日(金)	H30 企画推進会議(第2回) 情報保障コーディネーターチーム(第2回)	第5回大会実施計画、予選審査結果
平成30年8月31日(金)	ヒアリングシートの提出	演技内容の詳細(シナリオ・楽曲等)の報告)
平成30年10月6日(土)	第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園リハーサル、交流会	リハーサル:米子コンベンションセンター 交流会:ANAクラウンプラザホテル米子
平成30年10月7日(日)	第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園本大会	米子コンベンションセンター
平成30年11月	H30 企画推進会議(第3回)	第5回大会開催結果の報告、意見交換
平成31年2月	H30 実行委員会総会	第5回大会開催結果、 次回大会の検討、H30 補正予算
平成31年2月	H30 企画推進会議(第4回)	次回大会の検討